

別紙2 参考様式

現在の人・農地プランの区域の全部又は一部の区域であって既に実質化していると判断する地区

対象地区名	範囲	区域内農地面積(ha)	近い将来の農地の受け手①		近い将来の農地の出し手②		①及び②の面積合計(ha)	備考
			中心経営体数	現状の経営面積合計(ha)	農業者数	貸付等予定面積合計(ha)		
稲沢地区	稲沢	611	13	161	356	192	353	受け手の後継者の確保状況等により、経営の継続性を確認済み
明治地区	明治	628	10	108	365	222	330	受け手の後継者の確保状況等により、経営の継続性を確認済み
千代田地区	千代田	603	23	178	351	179	357	受け手の後継者の確保状況等により、経営の継続性を確認済み
大里地区	大里	391	9	152	228	142	294	受け手の後継者の確保状況等により、経営の継続性を確認済み
祖父江地区	祖父江	819	19	65	477	447	512	受け手の後継者の確保状況等により、経営の継続性を確認済み
長岡地区	長岡	237	7	58	138	94	152	受け手の後継者の確保状況等により、経営の継続性を確認済み
平和地区	平和	385	16	95	224	142	237	受け手の後継者の確保状況等により、経営の継続性を確認済み

注1: 1集落1農場を実現しているような区域においては、区域の受け手の事業が将来にわたって安定的に継続される見込みを後継者の確保状況等により確認し、確認した旨を「備考」欄に記載します。

注2: 「範囲」を集落名等により特定できない場合には、地図等を用いて特定することができます。

注3: 「近い将来の農地の受け手」の「現状の経営面積合計(ha)」には、対象地区内における中心経営体の現状の経営面積の合計を記載してください。